

書面開催結果報告書

【協議事項】

1. 協議会運営に係る令和3年決算・監査報告及び令和4年度予算について
不承認0名となり、承認されました。
2. 副会長、監査委員の任命について
不承認0名となり、承認されました。

【報告事項に対する意見】

1. 令和3年度事業報告（あびバス、ふれあいバス、運転免許証自主返納優遇制度）

委員意見	事務局回答
免許証自主返納者へのその後の対応（交通手段等）は。	運転免許証自主返納者への交通手段の確保としては、病院や大学等事業者にご協力いただき、「送迎バスを活用した高齢者の外出応援事業」を実施しているところです。また、特に東側地区の住民皆様に対しては、シャトルバスの運行により、交通手段の補完ができればと考えています。
国道、県道を走る大型バスとは違い、あびバスは住宅街の狭い路地で乗客を拾えるという利点があり、有用と思います。私の自治会は新木ルートを利用していますが、お年寄りにはとても必要な交通手段です。ぜひ継続してください。	ありがとうございます。あびバスの運行については、今後も新木ルート及びその他ルート（4ルート）の継続運行を行っていくよう、努めてまいります。

<p>運転免許証自主返納優遇制度について、市内対象者の増加により利用者の集計作業についても負担が過大となっています。</p> <p>また、当該制度免許証を返納した方のみが割引対象となっており、同じ市民でも免許を取得していない方には、割引が無いとのご意見も寄せられており、高齢化率の上昇とともに当該制度設計を見直す時期に来ていると考えます。</p> <p>制度設計の見直しに当たり、当社ではアクティブシニアパス(70歳以上を対象としたシルバーパス)を販売しており、当該定期券制度を流用する形での運賃補助制度に切り替える方向でご検討いただきたい。</p>	<p>利用者の集計作業について、お手数をおかけし、申し訳ありません。集計作業については、先日協議させていただき、バス運転手の負担が軽減される集計方法(降車時のみ利用者カウント)に変更させていただいたところ です。</p> <p>運転免許証自主返納優遇制度は、運転免許証を返納するか迷われている70歳以上の高齢者の方々に対して、返納の後押しとなることを目的として開始された制度となります。そのため、運転免許証を所持していない高齢者も含めた制度となりますと、当初の制度目的から外れてしまう面があります。また、運転免許証を所持していない方を含める場合、高齢者全体を対象とした公共交通機関利用補助の制度設計を行う必要があります、市の財政状況から現状では実施が難しいものとなっています。</p> <p>アクティブシニアパス購入の補助制度への切り替えについては、市の財政負担軽減が見込まれる面もあり、有用であると考えられますが、バスの利用頻度があまり多くない方(利用頻度的にアクティブシニアパス購入まで至らない方)へのバス利用補助が無くなってしまうこととなり、直近(令和5年度)の導入は難しいものとなります。なお、今後、実際に制度見直しを行う場合には、アクティブシニアパス導入を改めて検討させていただきます。</p>
<p>タクシー利用券について、発行枚数と回収枚数の比較はしていないが、実務者の感覚として、利用される方が増えていると実感しています。</p>	<p>事務者からのご意見ありがとうございます。タクシー利用券交付により、免許証返納者のタクシー利用促進となっていれば、喜ばしいことと考えます。</p>

<p>運転免許証返納優遇制度の拡大・加盟店募集。例えば、我孫子市内飲食店や理髪店などと連携し、運転経歴証明書の提示で割引が受けられる特典制度があると、返納者には良いと思う（SDカードみたいなもの）。</p>	<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>千葉県内の一部店舗等において、運転経歴証明書の提示により割引等のサービスを受けられる特典制度が実施されており、千葉県警察本部ホームページにて、対象となる店舗等の一覧を確認することができます。</p> <p>我孫子市内店舗等の連携については、千葉県警察本部による働きかけにより、我孫子市内の店舗等においても特典制度が広がることを期待すると共に、市としても周知活動等に協力できればと考えています。</p>
---	---

2. シャトルバス（仮称）実証運行計画について

意見	回答（事務局）
<p>大変期待しています。今後の計画の進展を見守っています。よろしく願いいたします。</p>	<p>ありがとうございます。計画については、協議会において随時、状況報告・協議させていただきます。</p>
<p>現在、当社において路線バスを運行している「天王台駅北口～湖北駅北口～布佐駅南口線」、ならびに「布佐駅南口～新木駅南口線」については、市内東側地区を主軸として運行している路線ですが、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少から、長きに渡り利用者の減少傾向が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、利用者が激減しており、川村学園女子大学より東側の地域、ならびに布佐駅南口～新木駅南口間における利用者数は通勤時間帯を含めても平均して1便あたり1桁の利用に留まり、路線存続の危機となっています。</p> <p>特に「天王台駅北口～湖北駅北口～布佐駅南口線」については、天王台駅北口～NEC・川村学園女子大学間の利用者収入で補填し何とか路線維持している状況にあり、シャトルバス（仮称）実証運行計画に</p>	<p>市としては、シャトルバスの運行（公共交通の新規拡充）を行うにあたり、既存公共交通の維持も同様に重要であると考えています。</p> <p>今回、案として提示させていただいたシャトルバスの運行ルート案は、ご意見いただいた存続危機となっている東側地区の路線バスを、今後シャトルバスが引き継ぐ形で維持する意図もあり作成したものとなりますが、現状の路線バスの利用者数自体が非常に少ない状況ということで、ルート設定についてはさらなる検討が必要であるとも考えています。</p> <p>いずれにせよ、後段の委員の意見に対する回答にもあるとおり、市としては、シャトルバス運行と共に既存路線バスの維持対策にも取り組んでいかなければならないと考えておりますので、引き続き「公共交通の維持」</p>

<p>についても、その点を考慮したルート設定をお願いしたい。</p>	<p>についての委員皆様のご意見をいただければと思います。</p>
<p>茨城県の高萩市で呼出型最適経路バス「My Ride のるる」が実証運行されています。朝夕の通勤・通学時は通常の運行で、日中は呼出しに応じて運行する。空きの運行がない。我孫子市でも検討の余地はないか？</p>	<p>「My Ride のるる」の情報提供ありがとうございます。</p> <p>「My Ride のるる」は、茨城交通（民間）が運行しているバスとなっています。運行にあたっては、茨城交通が赤字路線となっていた定時定路線型の路線バスを廃止し、代わりに、朝夕の通勤・通学時間帯は定時定路線型、日中は呼出運行型で運行する方式に再編し、実施されています。呼出に対する待ち時間を少なくするため、運行に使用するバス車両数は、平日4台・土日祝2台となっています。運行にあたっては、茨城交通と高萩市が協定締結し、高萩市が補助金交付する形で運行しています。</p> <p>我孫子市のシャトルバスの運行にあたっては、東側（布佐）から西側（天王台）への移動時間の速達性を重視していることや、予算的な制約もありバス1台で運行予定であることから、「My Ride のるる」のような呼出型のバス運行は難しいものとなります。</p> <p>なお、前段の委員のご意見にあるとおり、阪東自動車（株）東側地区の一部路線バスにおいて、路線存続の危機となっており、今後、市としては路線維持のため対策（補助金交付等）も検討する必要があると考えています。そしてその際には、バス利用者を増やすための方策として、「My Ride のるる」のような、定時定路線型以外の路線バス運行への切り替えも含めて、検討する必要があると考えます。</p>

<p>成田線を補完するとすれば、シャトルバス（仮称）を逸脱するかもしれないが、深夜、早朝の方が利便性は上がると思います。</p> <p>阪東自動車（株）の既存路線バス・天王台駅⇄布佐駅の乗車率もよいと思えず（特に昼間）、代替を目論んで計画していれば別だが、共倒れにならないか心配です。</p>	<p>シャトルバスの運行計画については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前までは、通勤・通学世代を対象に、成田線終電後の深夜帯の公共交通補完を目的とし、運行計画していました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、テレワーク促進による通勤者の減少や、飲み会後等の深夜帯の公共交通利用が見込めなくなったことにより、代替案として、高齢者の買い物等需要にも対応した、日中（朝～夕）の運行を検討しているところです。</p> <p>なお、阪東自動車の路線バスにおいても、現在も深夜帯の利用は見込めないということですので、現状ではシャトルバスは日中の運行を予定しておりますが、今後の新型コロナウイルス感染症の終息状況や、通勤・通学世代の行動の流れも勘案しながら、なるべく多くの利用者が見込める時間帯の運行を行っていきたいと考えています。</p> <p>なお、阪東自動車の既存路線バス・天王台駅⇄布佐駅の乗車率の件については、前段の委員へのご回答を参照ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・実証運行の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の状況を見極め、乗降客が十分に見込める期間設定をお願いしたい。 ・実証運行に係る予算の要求に当たっては、過大な予算要求とならないよう精査をお願いしたい。 	<p>現状では、令和5年度中の実証運行を予定していますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮しながら、期間設定等を行ってまいります。</p> <p>予算要求については、実証運行を行う期間（月数）を精査することで、過大な予算要求とならないよう努めます。</p>

3. 我孫子市移動等円滑化基本構想の一部改定について

意見	回答（事務局）
<p>「ホームドア設置」が基本構想に記載されていないだけの理由で設置できない、とすれば本末転倒だと思います。</p> <p>整合をとるために「ホームドア設置」を基本構想に記載するのも煩雑な手続きが必要と理解しました。大げさかもしれないが、大事な民主主義の実践です。</p>	<p>ホームドア設置にかかる、我孫子市移動等円滑化基本構想の一部改定について、ご理解いただきありがとうございます。</p> <p>なお、次回協議会において、基本構想一部改定の最終案を議案として提示させていただき、議決をいただく予定です。</p>
<p>事務局案で進めてください。都度、会議で状況をお知らせください。</p>	
<p>国道356号線については、我孫子市の東西を貫く重要なルートであるが、場所によって歩道の整備が行き届いていない箇所があり、片側しか歩道が無い箇所や、側溝の蓋を歩道として流用している事から、私有地出入口部分の歩道切下げにより凹凸の多い歩道となっている箇所も多く、路線バスの運行にあたり、自転車利用者や車いす利用者が急に車道側に出てくる場面も多く非常に危険である事から改善いただきたい。</p> <p>今後の高齢化率の上昇、バリアフリーの観点からも、国道356号線の整備について我孫子市移動等円滑化基本構想に盛り込んだ方が良くと思います。</p>	<p>国道356号線については、千葉県柏土木事務所の管理となっているため、ご意見いただいた歩道の状況について、課題として認識させていただき、今後、整備検討をしていただければと思います。</p> <p>また、我孫子市移動等円滑化基本構想への記載については、今後予定している全面改定の際に、改めて検討したいと考えています。</p>
<p>国道356号線、鈴木屋～コナカの歩道整備。</p>	
<p>今年度スタートの我孫子市都市計画マスタープランには、P.35に「ホームドア」項目の位置付けを確認しております</p>	<p>情報提供ありがとうございます。</p> <p>なお今後、移動等円滑化基本構想の全面改定を行う際には、上位計画である都市計画マスタープランとの関連性・整合性も考慮しながら改定作業を進めてまいります。</p>

4. 我孫子市公共交通事業者等燃料価格高騰対策支援金について

意見	回答（事務局）
<p>県内の自治体として、異例の速さでの取り組み・早急な支給に感謝しております。</p> <p>他自治体への影響も大きく、我孫子市の交通事業者に対する真摯な思いを感じました。</p> <p>改めて御礼を申し上げるとともに、今後についても原油高に伴う燃料価格の高止まりが予想されるため、引き続き交通事業者にご支援を賜りますようお願い致します。</p>	<p>本支援金が公共交通維持のための一助となっているとのことで、喜ばしく思います。</p> <p>今後のさらなる支援については、原油高に伴う燃料価格の高止まり等の状況も注視しながら、検討してまいります。</p>
<p>燃料価格高騰に伴い直接的な燃料（軽油・ガソリン・LPガス等）だけでなく、車両に関わる諸経費（タイヤ・オイル・部品等）も値上げされており、台数当たりの支援金は非常に助かります。</p>	

以上